

2003年6月期 本決算説明会

2003年8月26日

株式会社インターネット総合研究所
代表取締役 藤原 洋

(注) 当資料は、当社の2003年6月期本決算報告を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。この資料のいかなる部分も一切の権利は当社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。また、本資料には2004年6月期の予想にかかわる記載がありますが、これはあくまでも当社の予想であり、その時々状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますのでご了承ください。

目 次

〔1〕 2003年6月期本決算ハイライト

**〔2〕 IP研究所からIPソリューション企業グループへ
～事業急伸に伴う2004年度の展開～**

〔1〕 2003年6月期本決算ハイライト

3. 2003年6月期本決算: 財政の状況

(単位: 百万円)	2002・6月期 第1四半期	2002・6月期 第2四半期	2002・6月期 第3四半期	2002・6月期 決算期	2003・6月期 第1四半期	2003・6月期 第2四半期	2003・6月期 第3四半期	2003・6月期 決算期	前年同期比
流動資産	6,713	7,229	7,088	4,987	4,814	4,880	5,243	6,278	25.9%
うち 現金及び預金	4,062	3,676	4,117	1,447	2,014	1,614	1,330	2,256	55.9%
うち 受取手形・売掛金	1,615	1,776	2,101	1,645	1,737	2,098	2,865	2,843	72.8%
固定資産	6,735	5,890	6,266	5,109	4,924	4,691	4,577	4,075	-20.2%
うち 有形固定資産	182	249	2,205	2,124	2,111	2,103	2,109	2,081	-2.0%
うち 無形固定資産	319	168	59	37	34	32	54	48	29.7%
うち 投資その他資産	6,233	5,472	4,001	2,948	2,779	2,556	2,413	1,945	-34.0%
資産合計	13,449	13,120	13,355	10,097	9,740	9,571	9,820	10,354	2.5%
流動負債	1,906	2,324	3,040	2,715	2,606	2,942	3,503	4,247	56.4%
うち 支払手形及び買掛金	1,148	1,342	1,708	1,526	1,610	1,881	2,396	2,511	64.5%
うち 短期借入金	474	541	545	406	450	400	400	740	82.3%
その他	235	411	729	153	483	461	648	531	247.1%
固定負債	77	232	1,145	961	961	814	740	724	-24.7%
うち 退職給付引当金	70	71	73	79	82	86	88	90	13.9%
うち 長期未払金	-	-	1,021	880	877	727	650	573	-34.9%
負債合計	1,983	2,558	4,185	3,677	3,567	3,756	4,243	4,972	35.2%
少数株主持分	1,758	1,691	1,896	416	483	466	447	793	90.6%
資本金	2,050	2,081	2,083	2,188	2,191	2,202	2,202	2,226	1.7%
資本合計	9,707	8,870	7,274	6,003	5,687	5,350	5,129	4,587	-23.6%
負債・少数株主持分および資本合計	13,449	13,120	13,355	10,097	9,740	9,572	9,820	10,354	2.5%

◆流動資産の増加および現金預金の増加

- ・BBXの連結子会社化 (期末) により、380百万円増
- ・投資有価証券の売却代金回収など

◆固定資産の減少

- ・投資有価証券の減損会計適用による評価減
- ・持分法適用による、関連会社への投資額の減少

◆長期未払金の減少

- ・ブロードバンドタワーの設備未払金の支払いによる減少

1. 2003年6月期本決算サマリー

(単位: 百万円)

		2002/6月期	2003/6月期					2004/6月期
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	通期予想
売上高		7,711	2,117	2,719	3,529	2,942	11,307	16,000
[内訳]	IPネットワーク事業	2,363	629	849	1,885	1,645	5,008	----
	IPプラットフォーム事業	5,311	1,485	1,866	1,641	1,295	6,287	----
	その他事業	36	2	3	3	3	11	----
売上総利益		1,338	302	433	494	475	1,704	----
販管費		2,762	463	498	489	604	2,054	----
内、連結調整勘定償却		475	3	3	1	0	7	----
営業利益		△ 1,424	△ 161	△ 64	4	△ 129	△ 350	300
持分法による投資損失		2,810	165	193	161	202	721	----
経常利益		△ 4,328	△ 333	△ 299	△ 186	△ 318	△ 1,136	200
当期純利益		△ 4,783	△ 324	△ 337	△ 228	△ 598	△ 1,487	100

◆売上高: 113億円

エンタープライズ向けビジネスの立ち上がりとともに、機器販売等の新たな収益源が拡大。
累計の売上高で、当初の通期見込みを達成。
3Qは、大口顧客の決算期のため、売上高の伸びが見られた。

◆営業損失: △129百万円

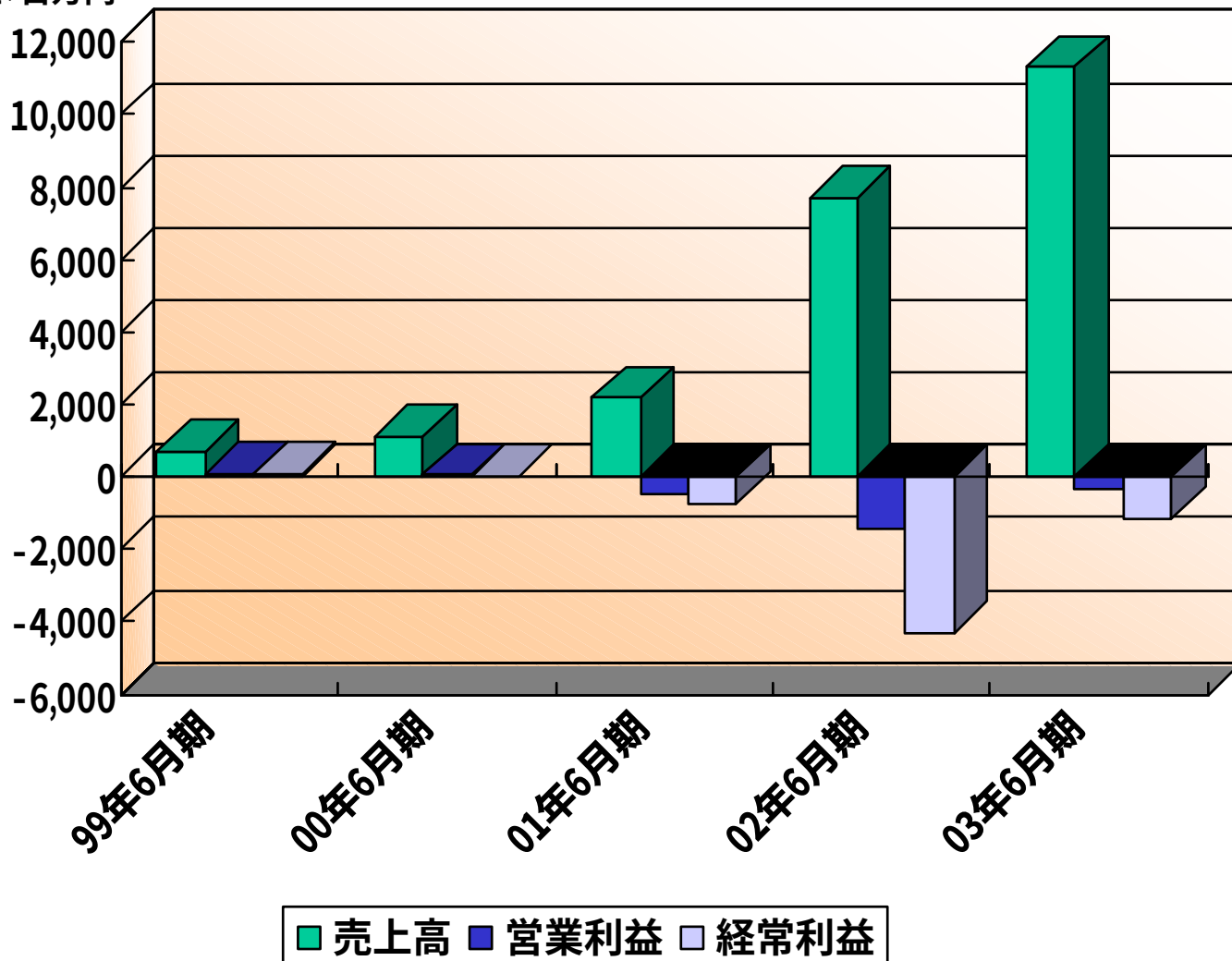
株式公開以来の連結ベース (四半期) での営業黒字を3Qで達成。4Qでの損失は、公共案件が3Qで清算されたことによる。
4Qの販管費増加は、人員の増強による人件費の増加など。

◆経常損失: 318百万円/当期純損失598百万円

主にブロードバンド・エクスチェンジ (BBX) の持分法損失の影響により、経常損失および当期純損失が拡大。同社のビジネスドメインをフォーカスすることにより、2004年度は改善の見込み。

2. 連結売上高、営業利益、経常利益の推移

単位: 百万円

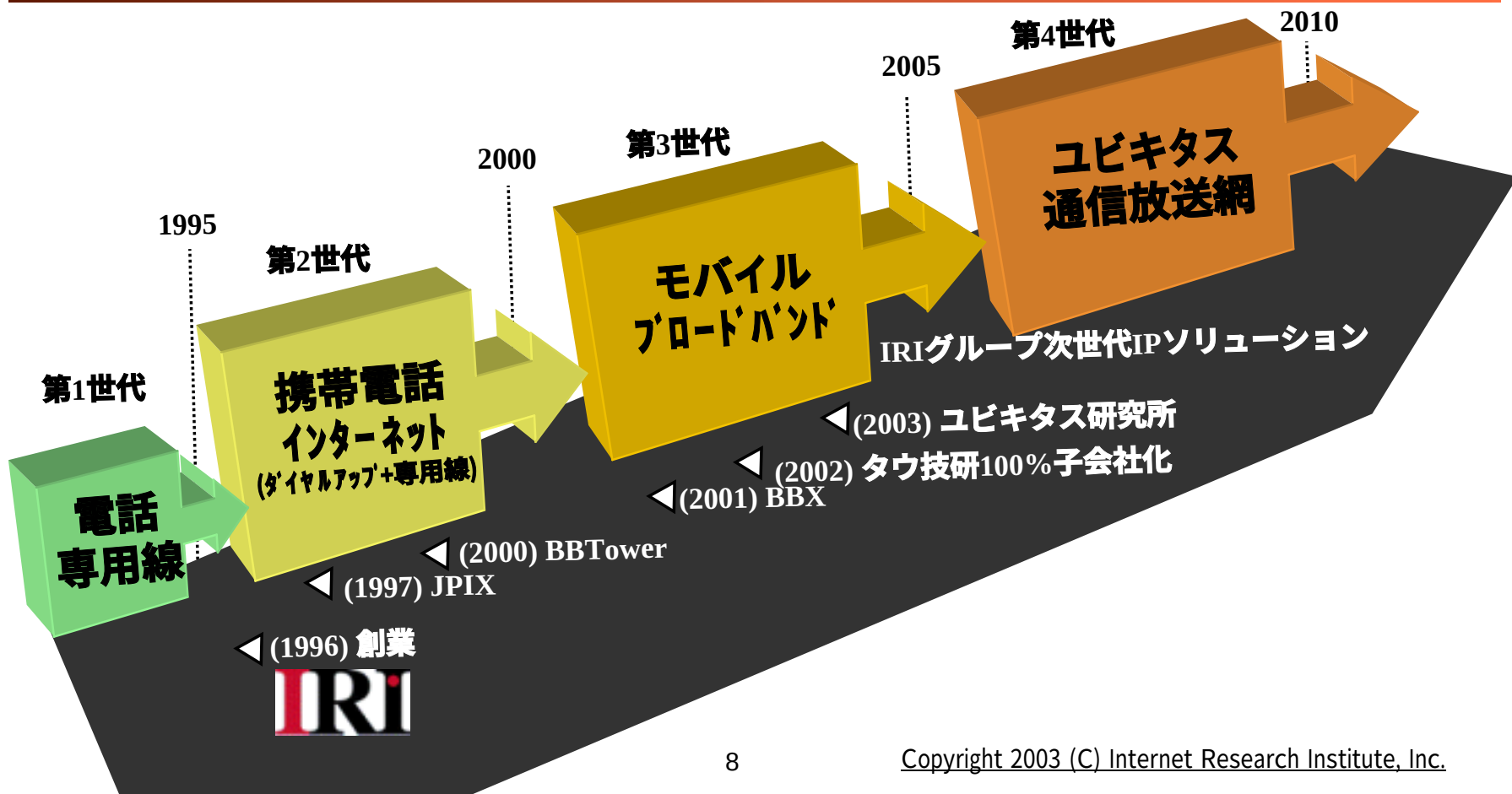


**(2) IP研究所からIPソリューション企業グループへ
～ 事業急伸に伴う2004年度の展開 ～**

1. IRIグループが目指す中長期の方向性

IP技術によって進化する新ネットワーク事業成長分野を創出

第4世代 『ユビキタス放送通信網』時代に向け、
IRIグループ全体の次世代IPソリューションを構築



IRIグループ全体として、
IPネットワーク運用技術を元に
常に中立的な立場から
ネットワークの世代交代を推進し、

“ニュートラル・ネット・ソーシング”による

次世代IPソリューションを構築します。

IRI Group is the only *NNS* Companies in the world.

(*NNS*: Neutral Net Sourcing)

3. ネットワーク市場におけるIRIグループの位置づけ

IRIグループの提供するIPソリューション

Webサーバ運用支援

トラフィック交換支援

インフラ運用支援

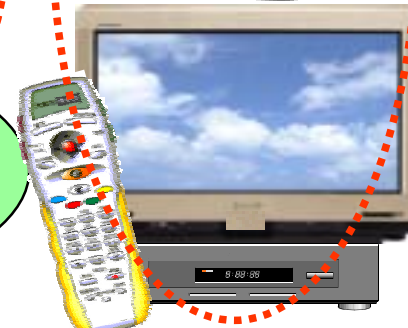
ネットワーク機器開発支援



固定通信網（ブロードバンド）

移动通信網（モバイル）

放送網（デジタル）



コンテンツ提供事業者
(エンタープライズ利用者)

インフラ提供事業者

機器メーカー

IRIグループの対象顧客

4. 2004年6月期 連結予想の内訳

(単位: 百万円)

	2003.6期実績				2004.6期予想			
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
IRI単体 (株)インターネット総合研究所	2,437	△ 515	△ 543	△ 2,944	5,000	50	10	5
TAU タウ技研(株)	6,287	299	296	125	6,500	330	320	170
BBTower (株)ブロードバンドタワー	2,031	△ 88	△ 123	△ 239	3,000	250	220	220
BBX (株)ブロードバンド・エキステンシ	---	---	---	---	900	△ 300	△ 300	△ 300
IC&O (株)インターネットシーアント・オー	528	△ 58	△ 58	△ 36	500	0	0	0
IRI-CT (株)IRIコマースアントテクノロジー	329	4	2	2	400	15	15	5
その他 IRI-USA, Inc. など	11	0	0	0	10	0	0	0
合計	11,623	△ 360	△ 426	△ 3,093	16,310	345	265	100
(連結修正)	11,306	△ 349	△ 1,135	△ 1,487	16,000	300	200	100

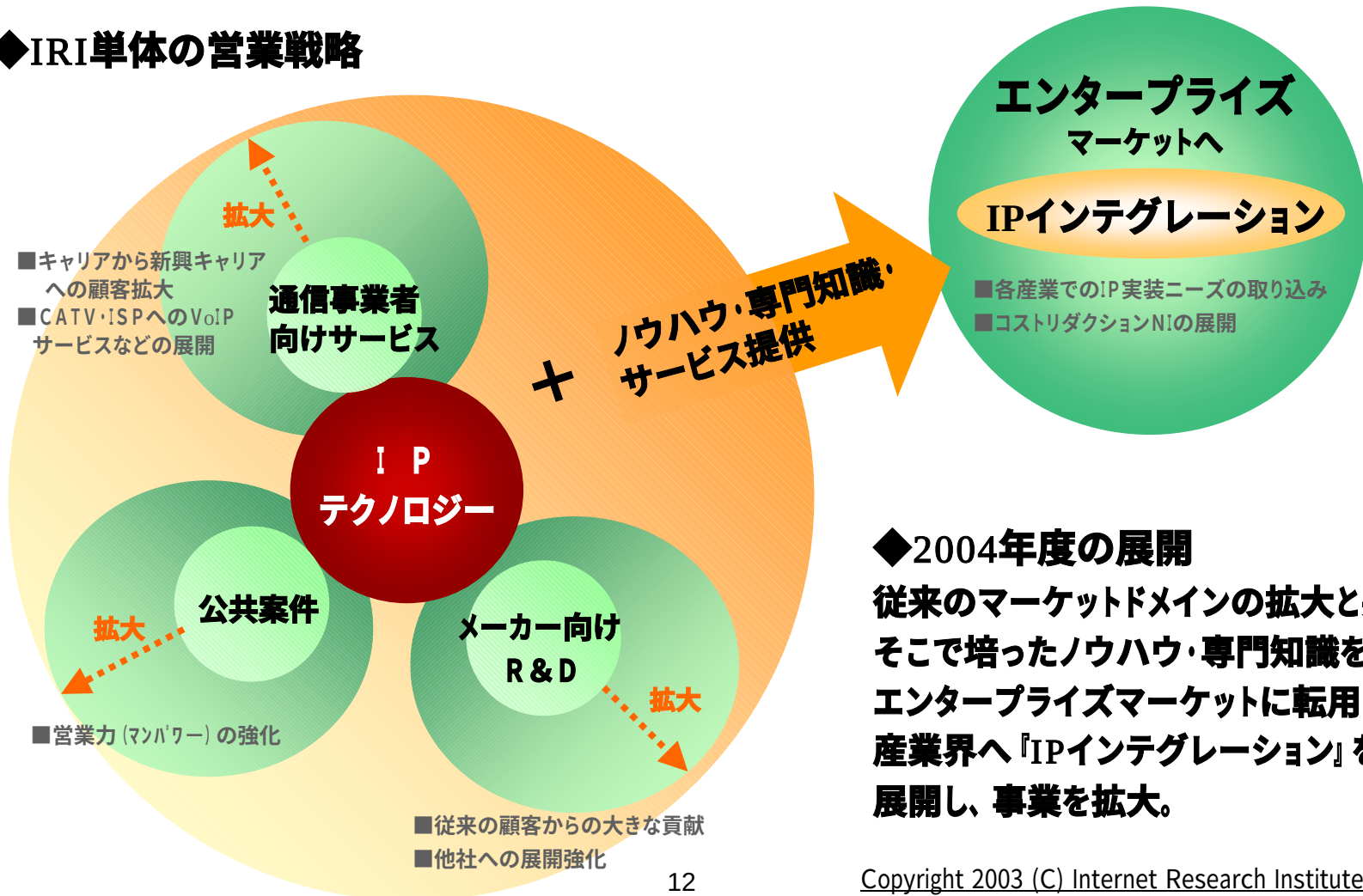
5. 【事業別展開】IPネットワーク事業：IRI (単体)

(株)インターネット総合研究所



2003年6月期実績	売上：2,437百万円	営業利益：△515百万円
2004年6月期予想	売上：5,000百万円	営業利益：50百万円

◆IRI単体の営業戦略



◆2004年度の展開

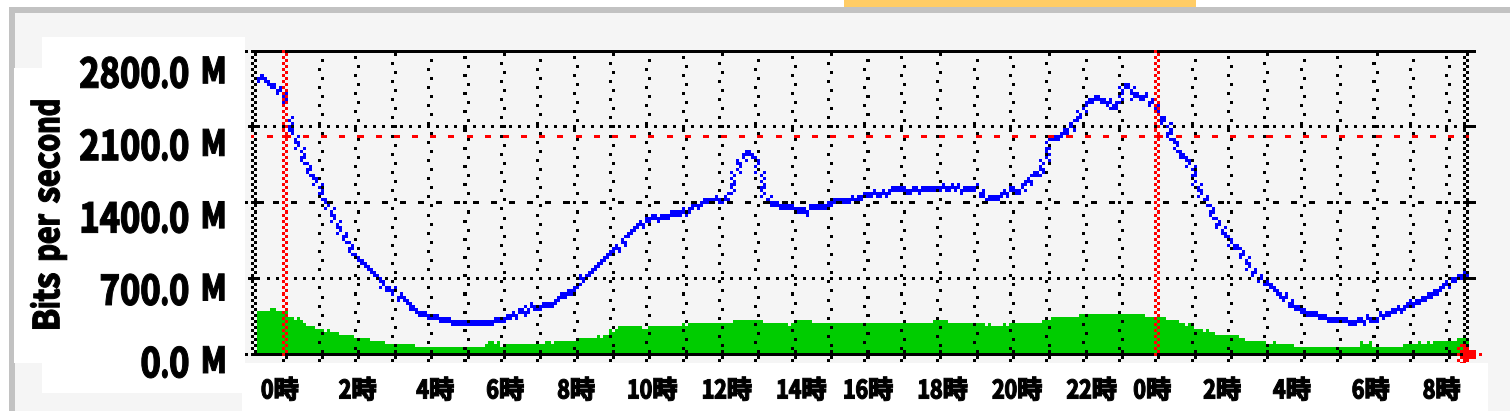
従来のマーケットドメインの拡大と共に、そこで培ったノウハウ・専門知識をエンタープライズマーケットに転用・応用。産業界へ『IPインテグレーション』を展開し、事業を拡大。

2003年6月期実績 売上:2,031百万円 営業利益:△88百万円

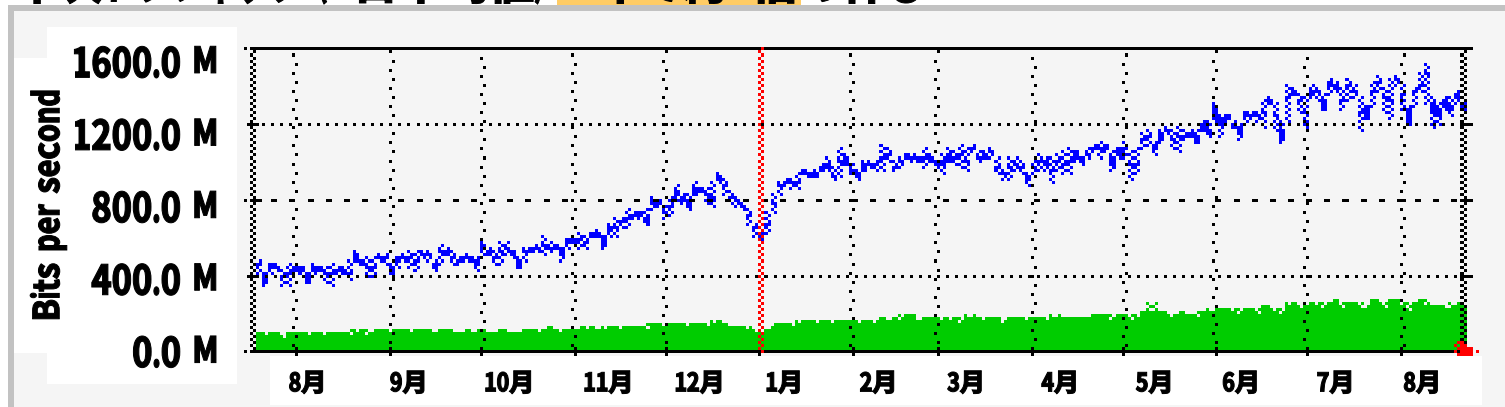
2004年6月期予想 売上:3,000百万円 営業利益: 250百万円

◆世界最大規模のトラフィックエンジニアリングに挑戦し続けるiDC

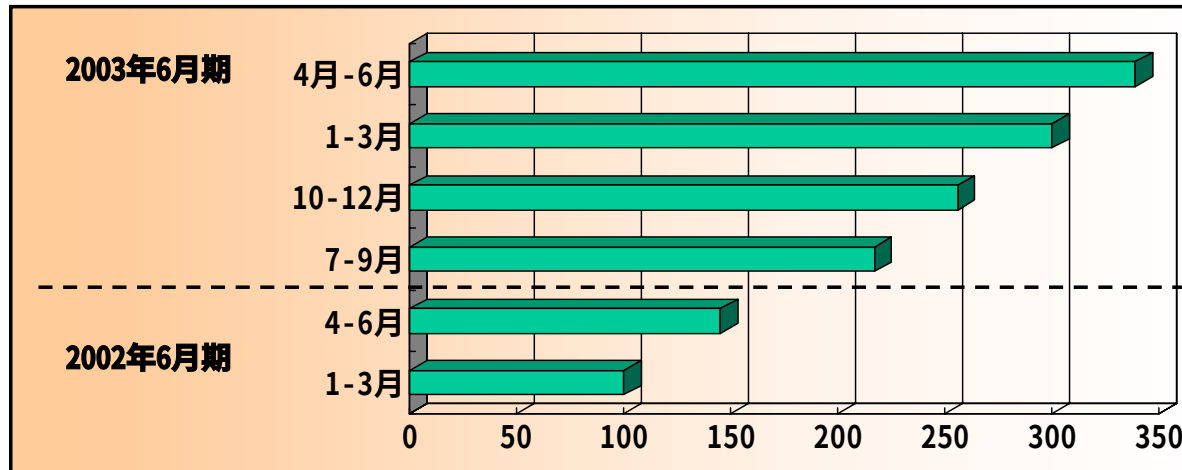
◇日次トラフィック (5分平均値) ピーク時には**2.8Gのトラフィック**を記録



◇年次トラフィック (1日平均値) **1年で約4倍の伸び**



◆ラックの稼働状況が順調に推移。



ラック稼働状況 (2002年1-3月期を100とした推移)

◆独自資金調達 (2003年7月)

戦略的パートナーとして、ソフトバンク・インベストメントと資本業務提携。

◆2004年度の展開

◇インターネット・データセンターから、

『ブロードバンド時代のコンテンツ配信センター』へ、事業を拡大。

◇株式上場を視野に入れた独自の資金調達・事業の展開。

2004年3月期予想 売上：900百万円 営業利益：△300百万円

-
- The diagram illustrates the Fuison BEX network architecture. At the center is a blue oval labeled "Fuison BEX網". Surrounding it are four cloud shapes representing different networks: "固定電話網" (Fixed Phone Network) at the top, "インターネット網" (Internet Network) at the bottom, "CATV網" (CATV Network) on the left, and "フレッツ網" (Fレッツ Network) on the right. Four boxes represent different types of branches: "営業所" (Branch Office) at the top left, "事業所" (Business Office) at the top right, "営業所" (Branch Office) at the bottom left, and "支店" (Sub-branch) at the bottom right. Each box contains a "既存PBX・キーテレ" (Existing PBX/Key Telephone) system and a "ゲートウェイ" (Gateway) device. Red dotted lines show connections from the PBX systems to the gateways and from the gateways to the central BEX network. Text at the top states: "企業内内線電話網に加えて、低価格で固定電話網への接続も提供" (In addition to the in-house line telephone network, we also provide connection to the fixed telephone network at a low price). Text at the bottom states: "IP電話機能に加え、インターネット接続性も提供可能" (In addition to IP telephone functionality, we can also provide internet connectivity).

◇企業向けIP電話導入パターン BBX

VoIPゲートウェイ方式

- VoIP GWを追加
- 既設PBXを転用可能
- 端末機器も転用可能

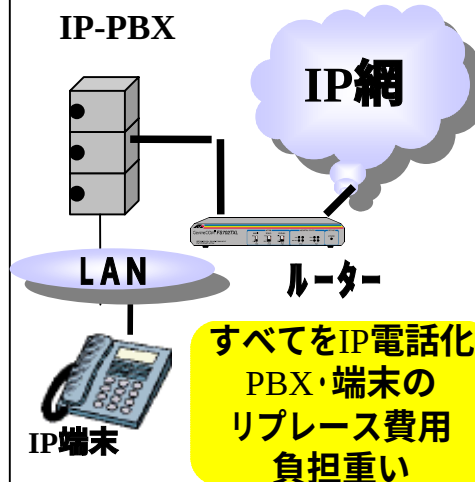
既存PBX・キーテレ



IP-PBX方式

- 既設PBXをリプレイス
- 端末機器もリプレイス
- ハード・ソフト増設

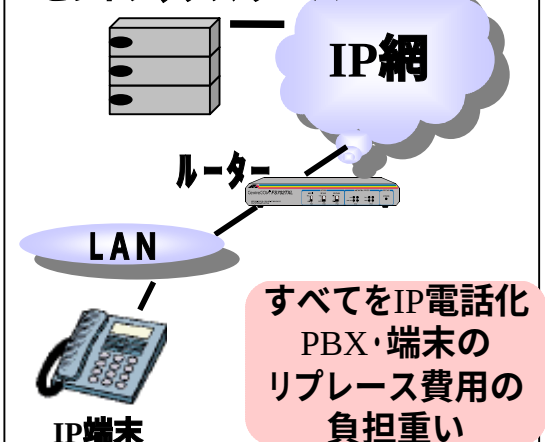
IP-PBX



IPセントレックス方式

- 既設PBXを撤去
- PBXはキャリアが持つ
- 端末機器はリプレイス

セントレックスサーバー



◆2003年度の展開

◇年度内単月黒字化を目指す

2003年6月期実績	売上：6,287百万円	営業利益：299百万円
2004年6月期予想	売上：6,500百万円	営業利益：330百万円

◆ 2004年度の展開

◇ 体制

- ・ユビキタス時代のIPプラットフォーム提供会社への飛躍。
- ・荻野司IRI取締役が社長に就任し、IRI本体との連携を強化。
- ・株式上場を視野に入れ、独自の資金調達・事業を展開。

◇ 事業

(1) 映像、画像におけるコア技術を中心にしたさらなる事業拡大

- ・液晶ディスプレイ用コントローラボード
- ・ATMセキュリティ機器関連
- ・複写機センサーボード



デジタル複写機用センサーボード



(2) ユビキタス時代における通信・モバイル事業への展開

- ・電子タグ (RFID) 利用した製品開発
- ・携帯電話 (移動機) 評価事業

◆ ユビキタスの潮流

インターネットが
社会基盤へ浸透

「新たなIT世界」

センサーネットワークの世界

◇ 松下電工と次世代ネットワークプロトコル (IPv6)

対応のHX (Home eXchange) を開発

◇ IPv6センサーネットワークングコンソーシアム への参画

松下電器産業、松下電工、日立製作所、富士通、NECなど
8社によるコンソーシアム設立記者会見 (2003年6月) ➡



写真提供: SOFTBANK ZDNet Inc.

◆ 2004年度の今後の展開

◇ 「もの」とネットワークの融合する社会における研究開発に注力

(1) センサーネットワークにおけるインターネット応用への研究

(2) 加えてIPv6を利用した具体的な実証実験への推進と参画 など

取締役候補および業務分担

9月開催予定の当社定時株主総会および同日
開催予定の取締役会の決議を経て正式専任の予定

代表取締役所長	藤原 洋	(CEO/最高経営責任者)
代表取締役	持塚 朗	(COO/最高執行責任者)
取締役	吉田 敦男	(CFO/最高財務責任者)
取締役	荻野 司	(CTO/最高技術責任者、タウ技研社長就任予定)
取締役	菊地 頼	(サービス開発担当)
取締役	中川 美恵子	(コーポレートガバナンス担当)
[新任] 取締役	西野 大	(IX技術戦略担当)
[新任] 取締役(非常勤※)	清水 英一	(日本ルーセントテクノロジー株式会社会長)
取締役(非常勤※)	中村 修	(慶応義塾大学 環境情報学部助教授)
取締役(非常勤)	岡田 智雄	(アジアネットコムジャパン社長)

※清水氏、中村氏は、社外取締役。

① IRI単体、10億円 (予定) の資金調達

リーマン・ブラザーズ・コマーシャル・コーポレーション・アジア・リミテッドに対し、第三者割当増資を実施。(2003年10月～2004年9月迄、5回に分けて発行予定)

モバイル、ブロードバンド時代 (～2005年)

ユビキタス、
通信放送網時代

2003年度

事業投資がほぼ一巡。
各連結子会社は自立的成長
過程に入り、連結黒字を
見込む段階に到達。

上場後

iDCおよびブロードバンド
関連分野へ、資金・人材面
の事業投資

2004年度

ブロードバンドに続く
新たな成長分野
『ユビキタス関連事業』
の規模が急拡大。

(2003年10月～)

運転資金ニーズに
対応し、増資

無借金経営を
維持しつつ、
事業規模を拡大。

② 資本準備金の減少 (2003年9月開催予定の定時株主総会に付議)

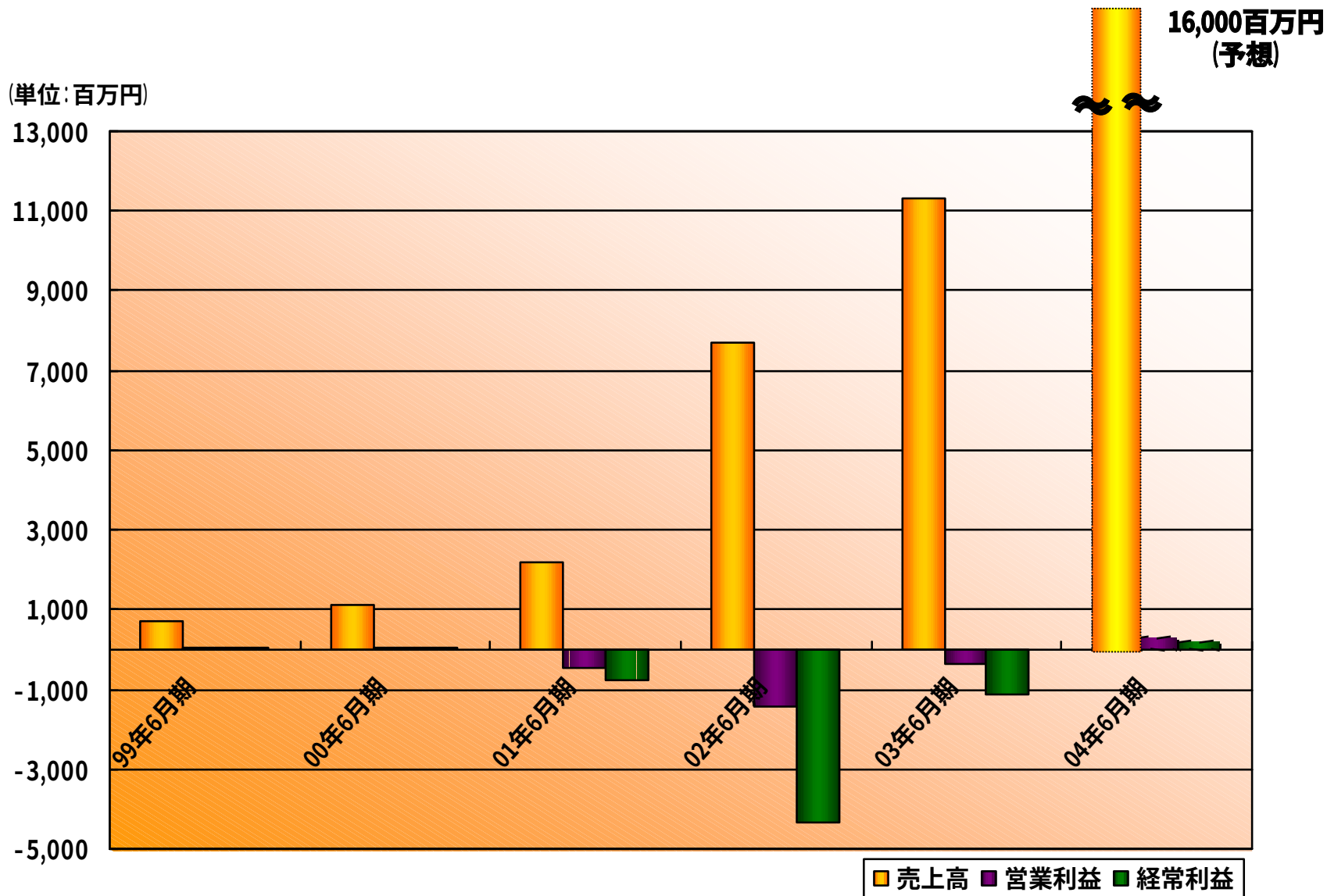
[施策1] 当期末処理損失 (4,965百万円) への充当。

**[施策2] その他資本剰余金 (3,980百万円) を確保し、
配当可能利益の充実を図ると共に、自己株式
の取得など機動的な資本政策を可能とする。**

減少前資本準備金	9,501,885,642円
資本準備金減少額	8,945,385,642円
未処理損失の填補	4,965,281,998円
その他資本剰余金	3,980,103,644円
減少後資本準備金	556,500,000円

8. 連結業績推移

(単位: 百万円)



MEMO

MEMO